Vol.61

# 騙して食べさせてはいけません！

## ～今日の「ひと口」と引き換えに、安心と信頼が失われていませんか？～

「少しでも食べてほしい」という気持ちから、苦手なものが入っていることを知らせないままにしていませんか？その時は口に入れても「騙された」と感じた子は、大人の言葉を信じられなくなってしまうことがあります。今月号では、子どもが安心して「食べてみよう」と思えるやり方を一緒に考えていきましょう。

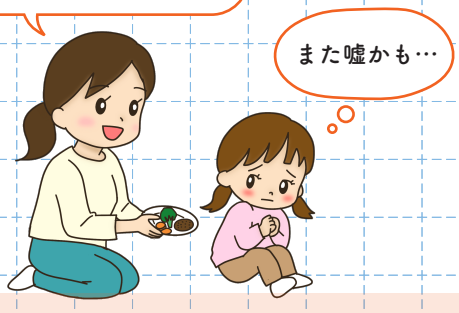
## 「騙された！」となりやすい、やり方・声かけ

- 苦手なものが入っているのに、口に入れるまで子どもに知らせない
- 苦みや酸っぱさがあると知っているのに、伏せて「美味しいよ」とだけ伝える
- 「ひと口だけ」と言ったのに、食べたら「もうひと口食べて」と強いる

悪気のない声かけでも、子どもにとっては『言われたことと違った』という体験になり『騙された！』という記憶に変わることがあります。

### 過去に「騙された」と感じたことがある子

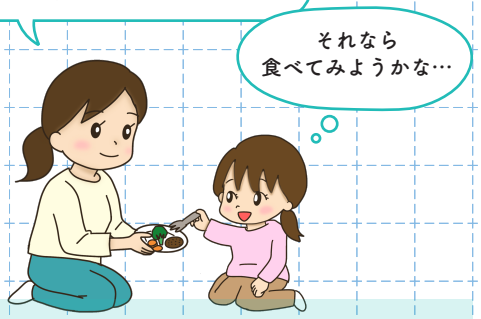
・何も入ってないよ
・美味しいよ　・ひと口だけ




“その料理だけでなく、
大人が勧めるもの全部を警戒してしまう
本当に美味しいものを勧めても、
言葉が届かなくなる”

### これまで正直に伝えてもらってきた子

・苦いかもしれないから気をつけて
・先生はこれ好きなんだよね




“大人の言葉が、ひと口の後押しになる
その日は食べなくても大丈夫。
安心や信頼が積み重なっていく”

## POINT

大切なのは、今日食べたかどうかより**「この人の言うことなら大丈夫」**と思えること。
その安心が、次のひと口につながります。では、どう伝えれば「大丈夫」と思ってもらえるでしょうか？
すぐに使える「正直声かけ3つのコツ」を解説記事にまとめました。右下のQRコードからご覧ください！

詳しい解説記事はこちら！

きゅうけん 月刊給食指導研修資料
給食指導の情報を分かりやすく毎月公開！
給食指導　きゅうけん　検索
https://kyushoku.kyo-shi.co.jp